
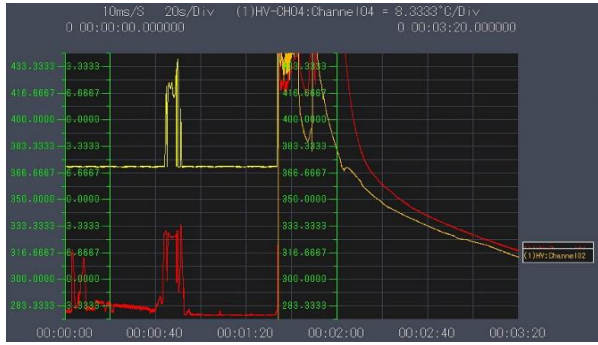


事業者名	広島県									
機器名	マルチセンサ式座標測定機の整備									
写真										
特徴・用途	製品・部品の寸法や形状を立体的に測定する装置で、画像・接触(倣い)・非接触の三つのセンサを有することを特徴とする。									
設置場所	広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	平成28年12月	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平成29年1月	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平成29年2月	0	0	0	0	5	14	0	0	5
	平成29年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年5月	0	0	0	0	3	7	0	0	3
	平成29年6月	0	0	0	0	3	10	0	0	3
	平成29年7月	0	0	0	0	6	31	0	0	6
	平成29年8月	0	0	0	0	1	2	0	0	1
	平成29年9月	0	0	0	0	2	15	0	0	2
	平成29年10月	0	0	0	0	10	42	0	0	10
	平成29年11月	0	0	0	0	2	8	0	0	2
	平成29年12月	0	0	0	0	3	10	0	0	3
	平成30年1月	0	0	0	0	2	3	0	0	2
	平成30年2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年3月	0	0	0	0	6	29	0	0	6	
利用者等の声	複雑で手間のかかる寸法測定を短時間で実施できるようになり、利便性が大幅に向上した。									
補助事業概要 の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-056koho.pdf									

事業者名	広島県								
機器名	光ファイバー温度計								
写真									
特徴・用途	高速でリアルタイムに温度変化を測定することができる。鋳造など金属製品を成形加工する際に、金型と金属材料の間の熱の伝達・移動を解析するための温度計測に用いて、より合理的な金型形状や加工条件の検討に役立てる。								
設置場所	広島県立総合技術研究所西部工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成29年1月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年2月	2	0	0	0	0	2	0	2
	平成29年3月	3	0	0	0	0	3	0	3
	平成29年4月	1	0	1	0	0	0	0	1
	平成29年5月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年6月	3	0	0	0	0	3	0	3
	平成29年7月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年8月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年9月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年10月	3	0	0	0	0	3	0	3
	平成29年11月	2	0	1	0	0	1	0	2
	平成29年12月	4	0	1	0	0	3	0	4
	平成30年1月	4	0	1	0	0	3	0	4
平成30年2月	2	0	2	0	0	0	0	2	
平成30年3月	2	0	2	0	0	0	0	2	
利用者等の声	従来の熱電対と比較してレスポンスが向上した。アルミ合金の種類やダイカスト条件(圧力、射出速度など)ごとに、最高温度や凝固時間を把握できるようになった。シミュレーションと連携させて鋳物品質の向上に役立てたい。								
補助事業概要 の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-056koho.pdf								